



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 庸介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小城 和紀 TEL 03-6810-0800
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	71,851	5.2	936	118.1	993	194.8	427	20.1
2021年3月期第1四半期	68,306	6.2	429	△75.7	337	△80.3	356	△57.3

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 433百万円 (19.8%) 2021年3月期第1四半期 361百万円 (△57.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	14.27	—
2021年3月期第1四半期	11.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	199,050	49,926	25.1
2021年3月期	186,262	49,868	26.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 49,926百万円 2021年3月期 49,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2022年3月期	—				
2022年3月期(予想)		12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	142,200	4.6	3,000	8.1	3,000	12.6	1,400	△10.0	46.69
通期	293,400	5.2	9,200	13.5	9,100	8.2	5,100	44.1	170.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	32,048,000株	2021年3月期	32,048,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,061,114株	2021年3月期	2,061,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	29,986,894株	2021年3月期1Q	29,987,132株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料については、TDnetにて適宜開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年4月～2021年6月）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、東京都を含めた一部の地域で再度緊急事態宣言が発出され、経済活動や社会生活が自粛要請の影響を受けるなか、個人消費が低迷し企業活動が収縮する等依然として厳しい環境が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、地域医療を担う医療機関としての使命を強く認識しながら、調剤薬局各店舗における感染防止対策を徹底し、良質な医療の提供を継続してまいりました。新型コロナウイルス感染症の早期収束に向けては、新型コロナウイルスワクチン集団接種の規模拡大、実施の迅速化に対しても積極的にサポートしております。また、収益性向上のため全社を挙げたコスト抑制にも継続して取り組んでおります。

調剤薬局事業においては、既存店の処方箋応需枚数増加に加えて、前期に出店した29店舗が順調に稼働し、業績の回復に寄与いたしました。また、本年3月からスタートしたマイナンバーカードを健康保険証として利用できる「オンライン資格確認」につきましては、6月時点で101店舗がプレ運用を実施しており、本年10月に予定されている本格運用に向けた準備を着実に進めております。さらに本年4月に運用を開始した社会的PCR検査「SocRTes（ソクラテス）」の実施店舗は6月時点で74店舗まで拡大しております。医薬品製造販売事業においては、グループシナジーの発揮に加え、研究開発投資による新規薬価収載品を含む自社製造品目の拡大及び生産性の向上に取り組んでまいりました。医療従事者派遣・紹介事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による薬剤師派遣の需要減少が続いておりますが、新型コロナウイルスワクチン接種関連業務の需要が急増したこと等により医師紹介事業は拡大しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高71,851百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益936百万円（同118.1%増）、経常利益993百万円（同194.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益427百万円（同20.1%増）となりました。今後も当社グループは、患者さまと従業員に対する感染防止対策に万全を期すとともに、良質な医療の提供に努めてまいります。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

①調剤薬局事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は62,912百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は1,888百万円（同306.4%増）となりました。同期間の出店状況は、11店舗の新規出店、2店舗の閉店の結果、6月末時点での総店舗数は679店舗（物販店舗2店舗を含む）となりました。売上高及び営業利益につきましては、前期と比較して処方箋枚数が増加したことに加え前期に出店した29店舗の寄与により増収増益となりました。なお、ジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、6月末時点で全社平均が89.5%に達しており、全国平均の82.1%（厚生労働省：調剤医療費の動向2021年2月数値）を超える水準で推移しております。また、在宅医療実施店舗の割合は90.8%（年間12件以上実施の店舗割合）と順調に推移しております。

②医薬品製造販売事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は12,158百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は451百万円（同45.9%減）となりました。売上高につきましては、前期及び本年6月の新規薬価収載品が牽引したことにより増収となりました。一方、営業利益につきましては、薬価改定に伴う既存製品の販売価格の下落及び予定していた一部の新規薬価収載品の販売を延期したこと等により減益となりました。なお、6月末時点での販売品目数は、6月に新規薬価収載品7品目を発売したこと等により678品目（一般用医薬品2品目を含む）となっております。

③医療従事者派遣・紹介事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,901百万円（前年同期比35.4%減）、営業利益は278百万円（同45.3%減）となりました。売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により薬剤師派遣の需要が減少し、減収となりました。営業利益につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種関連業務の需要拡大に伴い、医師紹介の実績が拡大している一方で、薬剤師派遣が縮小した影響により大きく減益となりました。産業医業務につきましては、当社グループの全国規模の営業体制や医師紹介実績を活用することで、新たなシナジー創出を図ってまいりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は199,050百万円となり、前連結会計年度末の186,262百万円に対し、12,788百万円、6.9%増加いたしました。主に、現金及び預金、商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は149,124百万円となり、前連結会計年度末の136,394百万円に対し、12,729百万円、9.3%増加いたしました。主に、買掛金の増加によるものです。

純資産合計は49,926百万円となり、前連結会計年度末の49,868百万円に対し、58百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は25.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月30日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症が2022年3月期の業績に与える影響につきましては、2021年3月期下期の事業環境が通期に渡り継続すると想定し業績予想を作成しておりますが、今後状況が大きく変化し、業績予想修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,893	41,866
受取手形	80	39
売掛金	21,050	—
売掛金及び契約資産	—	19,767
電子記録債権	831	584
商品及び製品	23,139	27,960
仕掛品	1,413	1,426
原材料及び貯蔵品	6,174	6,422
その他	3,668	3,327
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	89,246	101,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,566	29,743
土地	14,198	14,156
建設仮勘定	1,649	1,027
その他（純額）	19,370	19,573
有形固定資産合計	64,785	64,500
無形固定資産		
のれん	16,508	16,572
その他	2,443	2,415
無形固定資産合計	18,952	18,988
投資その他の資産		
投資有価証券	16	16
敷金及び保証金	8,288	8,595
その他	4,972	5,559
投資その他の資産合計	13,277	14,172
固定資産合計	97,015	97,661
資産合計	186,262	199,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,044	55,310
電子記録債務	2,742	3,486
1年内返済予定の長期借入金	27,966	27,466
未払法人税等	884	1,312
賞与引当金	3,602	1,931
役員賞与引当金	46	—
その他	8,434	11,265
流動負債合計	87,720	100,771
固定負債		
長期借入金	42,997	42,641
役員退職慰労引当金	199	107
退職給付に係る負債	2,153	2,218
その他	3,323	3,384
固定負債合計	48,673	48,352
負債合計	136,394	149,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	38,551	38,604
自己株式	△3,500	△3,500
株主資本合計	49,931	49,984
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△63	△57
その他の包括利益累計額合計	△63	△57
純資産合計	49,868	49,926
負債純資産合計	186,262	199,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日)
売上高	68,306	71,851
売上原価	57,343	59,380
売上総利益	10,962	12,471
販売費及び一般管理費	10,533	11,534
営業利益	429	936
営業外収益		
受取手数料	8	9
受取賃貸料	110	124
受取保険金	—	130
補助金収入	—	29
その他	39	56
営業外収益合計	157	350
営業外費用		
支払利息	83	79
支払賃借料	83	93
その他	82	119
営業外費用合計	249	293
経常利益	337	993
特別利益		
固定資産売却益	373	0
特別利益合計	373	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	709	993
法人税、住民税及び事業税	585	1,182
法人税等調整額	△232	△616
法人税等合計	353	565
四半期純利益	356	427
親会社株主に帰属する四半期純利益	356	427

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	356	427
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	5	5
その他の包括利益合計	5	5
四半期包括利益	361	433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361	433

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

この結果、当第1四半期累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	58,200	7,195	2,910	68,306	—	68,306
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,878	32	4,911	△4,911	—
計	58,200	12,073	2,943	73,217	△4,911	68,306
セグメント利益又は損失(△)	464	833	509	1,807	△1,377	429

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,377百万円にはセグメント間取引消去△84百万円及び全社費用△1,293百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	62,912	7,040	1,899	71,851	—	71,851
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,118	2	5,120	△5,120	—
計	62,912	12,158	1,901	76,972	△5,120	71,851
セグメント利益又は損失(△)	1,888	451	278	2,618	△1,681	936

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,681百万円にはセグメント間取引消去△53百万円及び全社費用△1,627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。